

平成26年 第13回

川西市教育委員会（定例会）会議録

川西市教育委員会

会議日程・付議事件	1
出席委員	2
説明のため出席を求めた者	3
会議録作成者	3
会議の顛末（速記録）	4 ~ 11

会議日程・付議事件

会議日時 平成26年8月21日(木) 午後2時

場 所 川西市役所 庁議室

日程 番号	議案 番号	付 議 事 件	備考
1		会議録署名委員の選任	
2		前回会議録の承認	
3		諸報告	

出席委員

委員長 服部 保

委員長
職務代行者 尾市 雅子

委員 加藤 隆一郎

委員 磯部 裕子

教育長 牛尾 巧

説明のため出席を求めた者

教 育 振 興 部 長	石 田 剛
総 務 調 整 室 長	森 下 宣 輝
学 校 教 育 室 長	上 中 敏 昭
教育振興部参事兼学校指導課長	若 生 雅 史
教育振興部参事兼青少年センター所長	辻 俊 博
社会教育室長兼文化財資料館長	柳 川 明 彦
まなび支援室長兼中央公民館長	中 定 久 紀
教 育 総 務 課 長	籾 内 寿 子
教 職 員 課 長	上 西 浩 之
施 設 課 長	池 下 靖 彦
学 校 指 導 課 主 幹	福 竹 優 子
生 徒 指 導 支 援 課 長	株 本 一 男
学 務 課 長	中 西 哲 浩
教育情報センター所長	杉 村 浩 子
社 会 教 育 室 主 幹	井 上 昌 子
まなび支援室主幹兼中央公民館主幹	松 山 幸 江

会議録作成者

教 育 総 務 課 主 査 岸 本 匡 史

[開会 午後 2 時]

服部委員長 それでは、只今より、平成 26 年第 13 回川西市教育委員会（定例会）を開会いたします。

服部委員長 まずはじめに「本日の委員の出欠」をご報告いたします。本日は、全員出席でございます。なお、「事務局職員の出欠」につきましては、事務局からご報告をお願いいたします。

教育総務課長（藪内） 本日の「事務局職員の出欠」について、ご報告申し上げます。本日は、田淵中央図書館長が欠席でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

服部委員長 次に、本日の「議事日程」につきましては、配付しております議事日程表のとおりであります。

服部委員長 これより日程に入ります。日程第 1「会議録署名委員の選任」を行います。委員長において、尾市委員、磯部委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

服部委員長 では次に、日程第 2「前回会議録の承認」でございますが、事務局において調製し、第 11 回定例会及び第 12 回臨時会の会議録の写しをお手元に配付しております。事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長（藪内） それでは、まず第 11 回定例会の会議録につきまして、ご説明申し上げます。1 ページに会議日程・付議事件、2 ページに出席委員を、3 ページに説明のため出席を求めた者、4 ページに審議結果を掲載してございます。会議録につきましては、5 ページからでございます。会議次第に基づきましてご審議いただきました経過等につきまして、調製させていただいております。また、第 12 回臨時会につきましても同様に調製させていただいておりますが、非公開案件であるため、詳細な審議経過につきましては非公開とさせていただいております。

最後に署名委員の署名ということで、第 11 回定例会については尾市委員、加藤委員に、第 12 回臨時会については加藤委員、磯部委員にご署名を頂戴しております。

以上でございます。

服部委員長 只今の説明について、質問、ご意見等ありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

服部委員長 それでは、お諮りいたします。第11回定例会及び第12回臨時会の会議録につきまして、これを承認することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

服部委員長 ご異議なしと認めます。よって、会議録につきましては、承認されました。

服部委員長 では次に、日程第3、「諸報告」であります。諸報告1「子ども議会の結果報告について」であります。事務局からご報告をお願いいたします。

教育情報センター
所長(杉村) それでは、8月2日(土曜日)に開催いたしました「第23回川西市子ども議会」についてご報告させていただきます。

6月7日(土)の第1回事前協議会において、教育長より子ども議員に任命書を授与して頂きました。その後、行政経営室経営改革課の協力を得て、小野課長補佐にご出席いただき、第5次総合計画についての説明を行っていただきました。川西市のまちづくりについて、その流れを一軒の家にたとえわかりやすく説明をしていただきましたので、子ども議員は熱心にメモを取りながら聞き入っておりました。

6月21日(土)に第2回事前協議会を行いました。5つのグループに分かれ、積極的に意見交換を行い、子ども議会当日に質問する内容をまとめました。各グループの質問項目とメンバー表を資料として添付させていただいておりますので、ご覧下さい。

8月2日(土)、子ども議会当日は、午後1時に開会しました。開会后、今年は川西市制60周年ということで、オープニングセレモニーでこれまでの子ども議会の歩みを振り返るスライドショーを会議場で上映いたしました。その後、グループごとに全員が登壇して一人ずつ自己紹介を行った後、順番に質問を行いました。そして、市長・教育委員長からは総括答弁と、1つ目の質問に対するご答弁をいただきました。その後の質問については、副市長や教育長、各担当部長からご答弁を頂きました。議事の詳しい様子につきましては、議事録をご覧ください。そのあと記念撮影を行いまして、午後3時56分に閉会をいたしました。

傍聴には、教職員・保護者も含め、101名の方が来られました。その

方々に答えていただいたアンケートによりますと「子ども議会の教育的効果について」は、皆様が「かなり効果的である」「効果的な面がある」ということでお答えしておられます。

また、「子ども議会の内容がわかりやすかったか」については「強く思った」が41.7%、「思った」が25.0%、少し思ったが25.0%、「余り思わない」が8.3%でございました。

「子どもの今後の学校生活や学習に活かされると思うか」では「強く思った」が54.5%、「思った」が18.2%、「少し思った」が27.3%でございました。

「市政への参画に役立っていると思うか」では「強く思った」という回答は残念ながら0%でしたが、「思った」が41.7%、「少し思った」が41.7%、「あまり思わなかった」が16.7%でございました。

「子ども議会の今後について」は「ぜひ継続」が75.0%、「できれば継続」が8.3%、「継続・廃止を検討する」が16.7%となっております。

以上の結果からも、参加者の方からはおおむね、子ども議会への理解を示していただいていると考えます。様々なご指摘につきましては、来年度の検討事項といたします。

今後は、子ども議員の中から立候補しました継続議員で、「子ども議会だより」を作成して各学校を通して児童生徒に配布してまいります。

また、依頼がありましたら、様々な市の行事に参加をしていきます。昨年度はかわにし幸せフォーラムに参加をいたしました。

今後とも子ども議員の活動にご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、子ども議会の報告とさせていただきます。

服部委員長

只今の報告について、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

磯部委員

参加した子ども議員の声は集めていますか。

教育情報センター
所長（杉村）

子ども議員の声ですが、今、まだ夏季休業中ですべて集まっておられない状態ですけれども、現在集まっている状況で13名が今のところ提出してあるんですけども、「参加してよかったか」というのが10名、「思った」が1名、「少し思った」が2名、「あまり思わなかった」というのは0名ということでしたので、参加したことにつきましては、議員のほう、満足した形で終えておるのかなあと考えております。

あと、「子ども議会は役に立ったか」は、「強く思った」が5名、「思った」が5名、「少し思った」が3名ということで、こちらも「思わなかった」という回答はございませんでした。

あと、「今後の学校生活に活かしてみようと思った」は、「強く思った」が5名、「思った」が5名、「少し思った」が3名、こちらも「思わなかった」というのは0です。

あと、こちら数が多かったというものでは、「川西市の行事にまた参加したいか」ということに関しましては、「強く思った」で8名の子ども議員が回答をしておりますので、これを通しまして、市政以外にも川西市のことにどんどん参画をしていこうという機運が高まったのかというふうに感じております。

以上です。

服部委員長

ほかはよろしいでしょうか。

そうしましたら、僕のほうから一つ。1カ月か2カ月前に、市の環境創造課で会議がありまして、そのときに、川西の市民の方に、自然環境だとか、里山に関してどういう意識を持っているかというアンケート調査をされたんですが、そのアンケート調査を見ていると、20代以上の方というのは、その自然環境とか里山に対してあまり意識がないような形の結果が出ていました。10代の子どもたちの方が、その里山だとか、環境に対する意識があったというような結果がありましたが、子ども議会に参加させていただきまして、5組のうち3組が里山ということの問題点を提出されました。川西市は、3年生で環境体験授業ですね、それから4年生で里山体験学習というような2つの体験学習をやっていますけども、その効果がものすごく出たのではないかと。故郷を思う心といいますか、そういうことがきっちり子どもたちに身につけているなあというような感じを受けました。

磯部委員

子ども議会の質問事項を見ていると、どのチームも、「川西の未来」や、今、委員長がおっしゃったような「ふるさと意識」というところを十分に酌み取りながら、よりよくしていきたいという意識を感じました。今、川西で問題になっていることを具体的に指摘していただいたり、改善案まで提案していただいていたたり、本当に貴重な宝の山がこの議会の質問事項の中にはあったと思っております。

昨年 of 定例会で話をさせていただいた、子ども議会の目的に発展的な付加価値を見出していくことが必要かもしれないということにおいては、今

年度、オープニングのときに、スライドショーで今までの振り返るなど、少し新しい試みをなさっていると思います。それから、昨年、傍聴の方によりわかりやすい議会をということで尾市先生から提案がございました、議案一覧を傍聴の方にお配りしたということも伺っております。

子ども議会で質問にあがったことを関連部署の方が、子どもの意見ということではなく、市をよくしていくための意見ということで、具体的にもっと取り組んでいく様子や、その結果というのをもっと見える化する必要があると思います。先ほど「市政への参画に役立っていると思うか」という質問に対して「強く思う」というのは、残念ながらゼロパーセントになっていたと思いますが、この子どもたちの意見をもっともっと市政に生かしていく、教育委員会でも生かしていくということに取り組んでいく、発展的な付加価値に取り組んでいけば、きっと市政にも役立っていると「強く思った」という意見も出てくるのではないかと考えております。今回の質問に出た以外のことでも、もっともっといろいろな話し合いがなされていると思いますので、それを生かしていくという取り組みに引き続き力を注いでいただければと思います。

教育情報センター
所長（杉村）

今、磯部委員からいただきました意見をもとに、この会議で、子ども議会が終わってしまうのではなく、今回、出た意見を教育委員会でしっかりと検討した上で、また他の部局等とも協力できる部分につきましては協力していきまして、どんどんまた返っていくように、子どもたちが実現をしたということが実感できるように取り組んでいきたいと考えております。

また、継続議員の中で、今回、先ほど磯部委員からもいただきましたけども、子どもたちの質問なんですが、これは議員個人としての質問ではなく、学校のほうへ戻りまして、各クラスで、また生徒会のほうで検討をして、みんなの中から拾い上げてきた質問をまとめて、今回、子ども議会のほうへ出していこうという形をとらせていただいております。そのような中で、今回十分取り上げることができなかった質問に関しましては、今後継続議員を中心に市政のほうへ投げかけていくというような取り組みを行いまして、それでまた新たな部分がありましたら、子ども議会だより等でまた学校のほうへ、生徒・児童のほうへ返していくというような取り組みを行いたいと考えているところでございます。

服部委員長

ほかにございませんでしょうか。よろしいでしょうか。
では諸報告1については以上といたします。

服部委員長

では次に、諸報告2「まなび支援室事務室の移転について」であります。事務局からご報告をお願いいたします。

まなび支援室長
(中定)

それでは、「まなび支援室事務室の移転について」ご報告いたします。川西市生涯学習センターにつきましては昨年11月28日の第20回教育委員会で報告しましたとおり8月1日のアステ市民プラザ設置をもちまして7月31日で閉館、廃止されたところでございます。

このため、まなび支援室事務室は川西市中央図書館のご協力でもって5階集会室に移転しております。

現在のところ、アステ市民プラザでの生涯学習短期大学の講義につきましては4学科を1回ずつ実施しております。また、昨日はオープン講座を実施いたしまして、受講者からは新しい環境について概ねご好評をいただいております。

移転に伴う課題といたしまして、現在気がつくところは、まず、各々の講義前の貸室の利用状況によりましては、非常に準備に時間が掛かりまして、レフネックは非常にご高齢者の学生さんが多いということもありまして、ご負担をお掛けする場合があります。

2点目といたしましては、6階の講義をする教室と5階の事務室の往来につきまして非常に手間取る。特に学生さんにつきましては、業務用エレベーターをご利用できないということもありますので、遠回りをしていただいた上でようやく事務室に到着するという状態が続いております。

3点目につきましては、日常業務ではまなび支援室として、今までは中央公民館と隣同士だったんですけども、非常に遠距離になったということで、公民館業務の連絡、書類のやり取りが手間取ったり、また、地区公民館長がアステのほうのまなび支援室を訪ねられる折、車両の駐車が難しいというようなご指摘もございます。

各々の課題につきまして、現在、対処しておりますのは、講義の準備につきましては、机や椅子を出すため前日や早朝から準備を始めております。また、講義の教室が事務室から離れておることにつきましては、学生さん、市民が集まれる講義日については、担当者ができるだけ長く教室に待機しまして、いろんな要件またご意見を伺えるよう対応に努めておるところでございます。

3点目の日々の業務についてでございますが、外出のときには、できるだけ本庁や、また中央公民館等へ出向いたり、またいろいろご要請のあった地区公民館のほうへ出向くように努めております。

また、アステ市民プラザはオープンしたばかりですので、今後は、協議

を重ね、学習する市民にとりまして、より良いよい環境づくりに努めてまいる所存でございます。さらに中央公民館の皆様には、休日や開館時間がまなび支援室とは異なる中で、管理上日々ご助力をいただいておりますということも併せてご報告させていただきます。

以上「まなび支援室事務室の移転について」の説明を終わらせていただきます。

服部委員長

只今の報告について、ご質問はありませんでしょうか。

磯部委員

先ほどご報告いただきました課題点の2点目ですが、6階の市民プラザから5階の事務スペースまでの往来に手間取るということですが、実は私も市民プラザに足を運んだ後に、5階集会室の奥にある事務所に伺ったときに迷子になりました。とても難しい経路で移動しないとはいけませんし、一度外を通らないと行けないということ、また、エレベーターが1基のみ5階まで上がるけれども、そのエレベーターが点検日に当たってしまうと、そこも使えないというような状況があると伺っております。

具体的に今ご利用者様から何か声として上がっていることや、点検日に当たったらどうするんだということについて、関連部署と調整をなさっているということはいかがでしょうか。

まなび支援室長
(中定)

磯部委員ご指摘のとおり、移りましてまだ半月ほどしかたっていないんですけれども、問題点の中で一番大きいのは、やはり今まで来られる学生さんと距離が近かった、いろんなご意見を聞きながら生涯学習の深化に努めることができたという点が大きなメリットとしてあったんですが、今はようやくたどり着けたなあと。5人で来たんやけど、みんなはぐれはぐれになって、たどり着いたのは1人だけやったというふうなのが、今朝も昼一番でございました。それぐらいやはり1階までおりてまたエレベーターを乗りかえて上がっていただくことが非常に難しいというところで、現在のところ、苦情というより、そのアステの中を楽しみながら事務室を探しておられるようなところが見えますが、これが月数がたってきますと、やはりご不満、また苦情に変わってくるのかなあというふうに思われます。

アステの管理上の事情等を考えますと、管理用のエレベーターと非常階段は使えないということもございますが、管理会社のほうにあわせて依頼しているところなんですけれども、一般のご利用者が管理用通路を使うというのは、なかなか首を縦に振っていただけないという事情もございます。

今は3点その対応策として、職員努力で何とか市民の方々のニーズに応えたいということを含めながら、もう一つは、管理用エレベーターだけではなく、来客用のエレベーターも止まっているときというのは、玄関の自動扉のところに張り紙をして、警備員さんがおられるところへの誘導地図を張ったり、また、学び支援室の電話番号を記した上で、職員が下において、来られた方については、同行をしながら管理用エレベーターで上がっていただくというふうなことを、今まで半月ですけど2回しております。そういうふうな形で、今、中央図書館と休館日とか管理日がちぐはぐになっておるといふところもあるんですが、そういったところにつきましては、過渡期にあるそういった管理の関係で致し方ない部分もありますけれども、職員努力によって何とか切り抜けているというのが実情でございます。

また、今後ともいろいろご支援をお願いするとともに、ご意見をまた頂戴できればと思っております。ありがとうございます。

服部委員長 ほかにございませんでしょうか。
それでは諸報告2につきましては以上といたします。

服部委員長 では、以上で本日の議事はすべて終わりました。

服部委員長 次回の定例教育委員会は、9月18日(木)午後2時から、庁議室において開会いたします。

服部委員長 これをもちまして、第13回川西市教育委員会(定例会)を閉会いたします。ご苦労様でした。

[閉会 午後2時23分]

以上会議の事項を記録し、相違ないことを認めましたので、ここに署名いたします。

平成26年9月18日

署名委員 尾市 雅子 ⑩

磯部 裕子 ⑩